

岐大通 2008

モンテディオ山形 戦

ホームで福岡にドローの後にはアウェー水戸、天皇杯で金沢と連勝。これまで番に恵まれてなかったFW相川の活躍もあり、復調はしてきたように見える。今節の相手は初のJ1昇格へ向けて好調維持の山形。簡単な相手ではない。ただし、好調山形を“スライプ”出来る権利持ちは岐阜だけ。広島だって仙台だって山形に負けている。「J2リーグに『岐阜あり』」などところを見せてやろう。



絵：ひらっち

『ぎだいでおり』は、FC岐阜のサポーターが小さな話題を集めて試合会場でお配りしています。試合前の時間つぶしにご利用ください。会場に残されるとごみになってしまいますので、お持ち帰りください。会場美化にご協力を。

2008J2
■過去3試合の結果■
第37節 甲府4-0岐阜

第38節 岐阜1-1福岡(相川)
第39節 水戸1-4岐阜(川島、梅田、片桐、大友)

■順位表■第39節終了
(勝点、得失点差、得点、岐阜戦の戦績(岐阜から視て))

◇ 1 広島	87p +55 85	△●●
2 山形	62p +19 55	○○
3 湘南	59p +21 62	●△
4 仙台	59p +15 52	●●●
5 鳥栖	58p +5 41	●△
6 C大阪	54p +12 63	●●●
◇ 7 甲府	52p +8 50	△△●
8 草津	50p 0 39	●△
◇ 9 福岡	49p -14 49	○○△
10 水戸	43p -15 48	○○○
11 横浜C	40p -7 43	●○
◇ 12 岐阜	38p -24 38	—
13 愛媛	35p -23 32	●●●
◇ 14 熊本	35p -27 41	○○△
◇ 15 徳島	26p -25 38	○○△

(◇は消化試合が1多い)

次回HomeGame
J2 第42節
横浜FC戦
11/9 (日) 14:30
@岐阜メモリアル
センター長良川競技場

投稿募集!!

gidaidohri@hotmail.co.jp

F.C.岐阜大好き通信(岐大通) / 第40節山形戦号 今号の担当：ささたく&吉田録造 編集発行：『岐大通』製作委員会

today's guest - welcome to GIFU -
モンテディオ山形
1984年、NEC山形サッカー部として創設。全国リーグ(JFL)加盟はライバルの仙台より早い1994年。仙台戦は「みちのくダービー」としてJ2屈指の盛り上がりを見せる。ホームスタジアムはNDソフトスタジアム山形。
■岐阜×山形：過去の公式戦＝2勝0分0敗
最近の対戦：J2第24節 岐阜2-1山形

◇第39節・水戸戦

●記憶なんてアイマイなもんだ。それでも、不思議なことに川島の左ミドルキックのようなハーフボレーが、横っ飛びの相手GKの手の先を抜け、サイドネットに決まるまでの弾道はなぜかボクの位置からハッキリと見え、自分のGKの横を抜いた時からゴールを確信し、ネットを揺らすより早く駆け下りて行ったような気がする。まだ、同点だっというのにね。とはいうものの、起点が完のロングFKだったとか相川が競ったあとのこぼれ球だったとかいうことは録画で見て気づく始末。ホントに、記憶なんてアイマイなもんだね。直前まで悩んだものの、思い切って遠征してよかった。勝利の味わいというの、なんと甘美なものか、とつくづく・・・今季のアウェイ水戸戦には楽しい思い出ばかりが残る。これで、もう少し近ければ、いや、遠いからこそ、さらに勝利の喜びが大きくなるのかな？(ぐん、)

●前回の仙台戦に続き、FC岐阜カフェにて観戦することに。開始10分前に未来会館に入ると結構な人が。どうやら、他のイベントがあったようで、そのイベント待ちの人がロビーにたむろしていた。当然カフェにもその人たちがいたので、臨時に用意された椅子も満席。私も席には着けたが、ドリンクグラスを持っての観戦となった。試合序盤、いきなり水戸の堀健人にゴールを許す。ああ、またかの雰囲気漂う。しかし、川島選手の思いきりふりぬいた左足から同点ゴール。カフェにはまさか川島選手が同点ゴールをきめるとはといった雰囲気も。後半、梅田選手の見事な見事なゴールが決まると殆どの人が歓声と共に立ち上がって拍手。片桐選手、大友選手のゴールが決まると皆立ち上がってハイタッチ、選手コールも。試合終了後、川島選手のインタビューが流れ、現地の岐阜サポの様子も映された。とたんに、「あー、うらやましい」「俺も参加してーよ」「長良川でもやりたい」といった声。そう、ホーム長良川では前回の山形戦以来途絶えた勝利のラインダンスが映されていた。その後、帰宅するとき、「やっとなと握手して帰るね」そう言われて握手をして、皆さんと別れた。今度はここホーム長良川で、もっと多くの人と握手し、もっと多くの人に参加してのラインダンスをしたい！(緑の小太鼓)

◇第38節・ホーム福岡戦

●勝てなかったものの、ほんの少しの安堵感も感じられ、終了直後は何とも複雑な雰囲気であった。結果はともあれ、やはりゴールが見れるのは嬉しい。相川の今期初ゴール！ここまでなかなか試合にも出れなかったけど、ああいう点の獲り方が出来るのは、相川ならではのと思う。(岐阜の誇り)
●福岡戦での岐阜の戦いぶりには少し変化を感じた。明らかに前半のうちに先制点を取るようとする積極性が見てとれる。それは久々に出場した相川の意気込みであったり、少し下がりのポジションで攻撃陣を仕切る小島の戦略であったりしたのだろう。ただひとつ言えるのは、6連敗にシヨゲてあきらめているような選手は誰ひとりいなかったこと。だからこそその連敗脱出だし久々の勝ち点1だ。ならば僕達サポーターも決してクサることなく声援を送り続けよう。(ST57)

◇天皇杯3回戦・金沢戦

●これまで常に「挑戦者」だったFC岐阜が、ある意味では初めて「格下」の相手を迎えた試合。しかもトーナメント初戦の怖さもあり、結果が求められる非常に難しい試合だったと思う。序盤から金沢の攻撃に守備陣が集中せず対応していたので、まずは安心。あとは攻撃陣がいかに点を取るか、に見えた。しかし、相手の粘り強く守備にチャンスは作るものの、なかなか敵のネットを揺らすことができない。徐々に時間が経過し焦りの色が見え始めようとする83分、相川が体を投げ出してヘディングし、執念のゴール！そのまま金沢を降し、名古屋への挑戦権を獲得した。「いつかは公式戦で」と願っていた対戦がこんなに早くやってくるとは。その意味でも、実に大きな勝利だった。(ささたく)

◇セカンド/国体成年岐阜代表かく戦えり

●セカンドチームが岐阜県選抜となって参加した大分国体。初戦で沖縄県選抜に2-1で勝つと、翌日の準々決勝では去年敗れた秋田県選抜に1-0とリベンジを果たして準決勝に進出！3日目の準決勝は岡山県選抜に1-2と惜敗して3位決定戦に回り、4日目は静岡県選抜に2-3と敗れ、4位という結果に終わりました。特筆すべきは、4連戦というハードな日程で毎日得点を挙げたこと、格上揃いの相手に二つ勝ったこと。特に秋田県選抜はJFLのTDKの選手のみで構成されていたので、そのチームに勝ってリベンジしたのは確かな成長を自ら証明したと言えるでしょう。国体での闘いは、選手にとっても、またチームとしても大きな財産であり、この後の県リーグや来季に向けてステップになると思います。そしてこれからも、選手のトップ昇格や岐阜県アマサッカー界をレベルアップさせる原動力として、熱くひたむきに前進し続けて欲しいですね！！(つる)

ALADDIN

何も無い店だけど・・・
心の花が咲く・・・
何も無い店だけど・・・
心癒される・・・
忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)

「いらっしゃいませ」より「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。
『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から
徒歩3分。
休：日曜日(今日はお休みです)

Living in Woods

本庄工業株式会社
http://www.honjo-woodream.com/